

保健室だより

平成 22 年 5 月発行

大正大学保健室

AEDの使い方知っていますか？



AEDは、救急現場で一般の人でも、簡単に安心して除細動が行うことができるように設計されています。しかし、突然倒れた人の胸に AED のパットを貼り、ボタンを押すには、ちょっとした勇気が必要です。いざという時のために、また、倒れた人を救うために、**AEDの正しい使い方**を知っておきましょう。

◆AEDとは◆

AED(自動体外式除細動器)は、突然の心停止の際に出現する心室細動(心臓が細かく震え、心臓本来のポンプ機能の役目を果たさない状態)に電気ショックを与え、震えを取り除く(除細動)ことにより、心臓の動きを正常な動きに戻すことを試みる医療機器です。

***2004年7月から一般の人にも使用が認められました。**

◆AEDがあれば助かるの？◆

AEDによる除細動が1分遅れるごとに社会復帰率は、7~10%ずつ低下すると言われています。しかし、AEDだけでは限界があります。「救命の連鎖」の中で、正しくAEDを使用することにより、より多くの命を救うことができます。

◆救命の連鎖とは◆

- ① 早期 119番通報 (救急車を呼ぶ)
- ② 早期心肺蘇生法 (人工呼吸と胸骨圧迫により脳や臓器に酸素を送る)
- ③ 早期除細動 (**AEDを使用**して心臓の震えをとりのぞく)
- ④ 早期二次救命処置 (救急隊や病院で高度な医療処置を行う)



以上の「救命の連鎖」が一つとして欠けることなく、しっかりとつながることが何よりも大切です。

◆AEDが到着するまでどうしたらいいの？◆

AEDが到着するまで、また救急車が到着するまでの間、最も大切なのは絶え間ない胸骨圧迫です。乳首と乳首を結ぶ胸の真ん中を強くそして早く（1分間に100回のペース）押してください。

◆AEDの使い方は◆



解析中は傷病者に触れない



誰も傷病者に触れない事を確認し、ショックボタンを押す

1. AEDの電極を入れる

AEDのフタを開け、電源ボタンを押します。音声メッセージと本体に点滅するランプに従ってください。（AEDは胸部左側に置く）

2. 電極パッドを貼る

2個の電極パッドを、絵に示されている位置にしっかりと貼りつけ、ケーブルをAED本体の差込口に入れます。

3. 心電図の解析をする

電極パッドを貼り付けると「傷病者から離れるように！」との音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。

4. 除細動を行なう

充電が完了したら、再び、「みんな、離れて！」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認してから、**除細動ボタン**（ショックボタン）を押します。

出典：愛知県公式HP、豊前市公式HP

◆本学のAEDの設置場所は◆

1号館1階（総合受付）と、2号館1階に設置してあります。AEDの設置場所を把握しておきましょう。

安全で効果的に行うために、救命講習などの受講をお勧めします。